

県内の景気動向

概況（2021 年 10 月）

景気は、下げ止まりの動きが見られる

観光関連では、入域観光客数は前年を下回る

消費関連では、百貨店売上高は前年を下回る

消費関連は新型コロナウイルスの影響で悪化しているものの、2019 年の動きと比較すると下げ止まりの動きがみられること（※上方修正）、建設関連は民間工事に再開の動きがみられるが、資材価格の上昇などを受け弱含んでいること、観光関連は新型コロナウイルスの影響で悪化しているものの、2019 年の動きと比較すると下げ止まりの動きが見られる（※上方修正）ことから、県内景気は下げ止まりの動きが見られる。

消費関連

百貨店売上高は、催事企画やキャンペーン実施、イベントスペースでの週替わり出展などにより売上増加を図るも、緊急事態宣言解除による客足回復は鈍く 5 カ月連続で前年を下回った。スーパー売上高は、緊急事態宣言解除に伴う来店客数増加などにより住居関連が増加したこと、巣ごもり需要の継続がみられ食料品が増加したことなどから既存店ベースでは 9 カ月ぶりに前年を上回った。全店ベースは 2 カ月連続で前年を上回った。新車販売台数は、東南アジアでの新型コロナウイルス禍や半導体などの調達難による部品不足で新車生産が停滞し前年を下回った。電気製品卸売販売額は、家電量販店向け販売で白物・電子レンジ、AV 商品などが減少したことなどから 5 カ月連続で前年を下回った。

先行きは、新型コロナウイルスの影響により引き続き不透明感はあるものの、緊急事態宣言解除に伴う人流回復、消費マインド向上が見込まれ、徐々に持ち直しに向かうとみられる。

建設関連

公共工事請負金額は、国、独立行政法人等・その他は増加したが、県、市町村は減少したことから、3 カ月ぶりに前年を下回った。建築着工床面積（9 月）は、居住用は増加したものの、非居住用は減少したことから 2 カ月連続で前年を下回った。新設住宅着工戸数（9 月）は、持家、貸家、分譲、給与のすべての項目で増加したことから 2 カ月ぶりに前年を上回った。県内主要建設会社の受注額は、公共工事、民間工事ともに減少したことから 3 カ月ぶりに前年を下回った。建設資材関連では、セメントは 16 カ月連続で前年を下回り、生コンは 16 カ月連続で前年を下回った。鋼材売上高は鉄スクラップなど原材料の需給ひっ迫により単価の上昇がみられるものの、分譲住宅など民間工事の引き合いが弱いことなどから前年を下回り、木材売上高は需給ひっ迫により木材価格が上昇したことなどから前年を上回った。

先行きは、民間工事に再開の動きがみられるものの、資材価格が上昇していることなどから弱含むとみられる。

観光関連

入域観光客数は、2 カ月連続で前年を下回った。国内客が減少し、外国客は引き続き 0 人となった。県内主要ホテルは、稼働率、売上高は 2 カ月連続で前年を下回り、宿泊収入は 2 カ月連続で前年を下回った。主要観光施設入場者数は 5 カ月連続で前年を下回った。ゴルフ場は、入場者数、売上高ともに 3 カ月連続で前年を上回った。緊急事態宣言が全面解除されたものの、旅行再開には慎重な姿勢がみられ全般的には低調な動きとなったが、ゴルフ場は県内需要の高まりから持ち直しがみられた。

先行きは、世界各国での新型コロナウイルス感染が再拡大していること、日本入国時の水際対策措置継続により、外国客が動き出すのは時間を要しよう。国内においては新型コロナウイルス感染状況が落ち着いていること、レジャー関連需要喚起策の実施により徐々に回復するとみられる。

雇用関連

新規求人数（９月）は、前年同月比 24.8%増となり 6 カ月連続で前年を上回った。宿泊業・飲食サービス業や製造業などで増加した。有効求人倍率（９月、季調値）は 0.80 倍と、前月より 0.01 ポイント上昇した。完全失業率（９月、季調値）は 3.2%と、前月より 0.4 ポイント低下した。

その他

消費者物価指数（９月）は、前年同月比で同水準となった。

企業倒産は、３件で前年同月を３件下回った。負債総額は４億 3,400 万円で、前年同月比 20.6% 増となった。

りゅうぎん調査（2021 年 10 月）

	前年同月比	前年同期比 (2021.8－2021.10)
1. 消費関連		
(1) 百貨店（金額）	▲ 3.0	▲ 5.7
(2) スーパー（既存店）（金額）	1.9	▲ 1.1
(3) スーパー（全店）（金額）	2.9	▲ 0.4
(4) 新車販売（台数）	▲ 29.3	▲ 27.2
(5) 電気製品卸売（金額）	▲ 17.9	▲ 17.4
2. 建設関連		
(1) 公共工事請負金額（金額）	▲ 0.6	29.0
(2) 建築着工床面積（m ² ）	(9月) ▲ 10.1	(7-9月) ▲ 17.3
(3) 新設住宅着工戸数（戸）	(9月) 18.8	(7-9月) ▲ 9.2
(4) 建設受注額（金額）	P ▲ 55.7	P ▲ 4.6
(5) セメント（トン数）	▲ 22.3	▲ 16.6
(6) 生コン（m ³ ）	▲ 25.3	▲ 19.2
(7) 鋼材（金額）	▲ 1.9	0.3
(8) 木材（金額）	18.7	14.1
3. 観光関連		
(1) 入域観光客数（人数）	▲ 12.4	2.7
うち外国客数（人数）	0.0	0.0
(2) 県内主要ホテル稼働率	(前年同月差) ▲ 12.8 (実数) 27.8	(前年同期差) ▲ 5.7 (実数) 22.7
(3) " 売上高（金額）	▲ 36.6	▲ 21.8
(4) 観光施設入場者数（人数）	▲ 19.6	▲ 46.4
(5) ゴルフ場入場者数（人数）	5.8	14.6
(6) " 売上高（金額）	2.1	8.5
4. その他		
(1) 県内新規求人数（人数）	(9月) 24.8	(7-9月) 14.0
(2) 有効求人倍率（季調値）	(9月、実数) 0.80	(7-9月、実数) 0.81
(3) 消費者物価指数（総合）	(9月) 0.0	(7-9月) ▲ 0.1
(4) 企業倒産件数（件数）	(前年同月差) 3	(前年同期差) ▲ 9
(5) 広告収入（県内マスコミ）（金額）	(9月) 0.2	(7-9月) 5.4

(注 1) 公共工事請負金額は西日本建設業保証株式会社沖縄支店調べ。建築着工床面積、新設住宅着工戸数は国土交通省調べ。県内新規求人数、有効求人倍率は沖縄労働局調べ。入域観光客数、消費者物価指数は沖縄県調べ。企業倒産件数は東京商工リサーチ沖縄支店調べ。Pは速報値。

(注 2) 百貨店は、2014 年 9 月より調査先が一部変更となった。

(注 3) 2012 年 5 月より外国客の入域観光客数を掲載した。

(注 4) 主要ホテルは、2019 年 8 月より調査先を 25 ホテルから 28 ホテルとした。

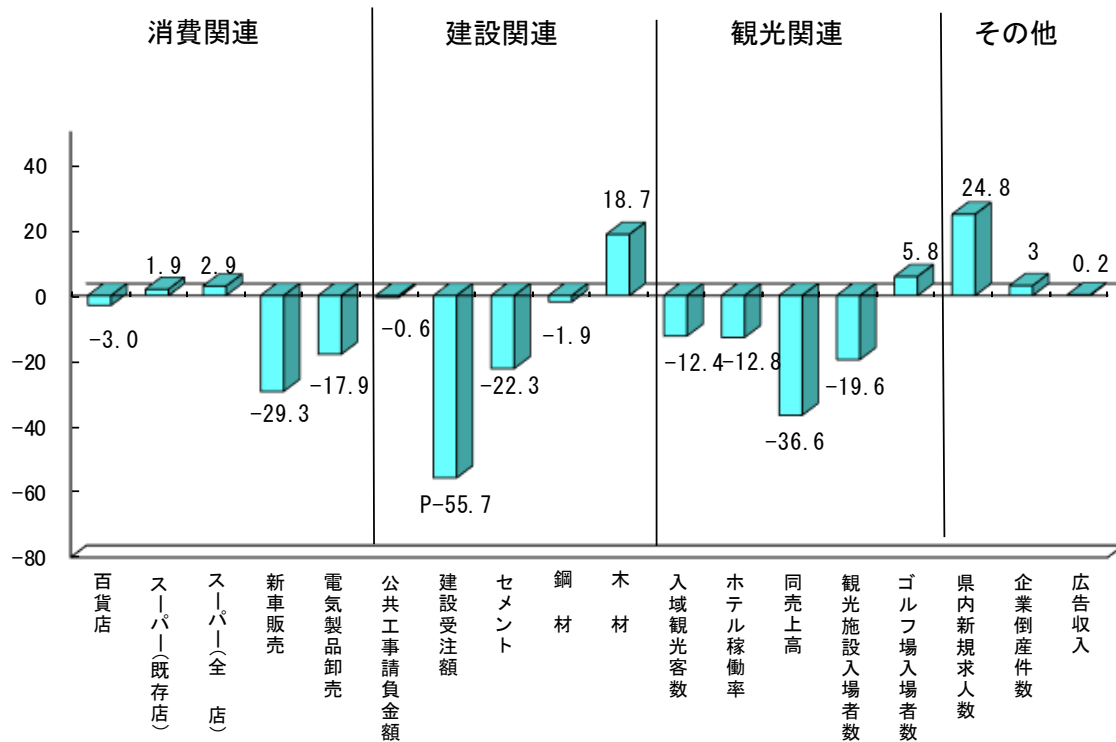
(注 5) 2016 年 7 月より企業倒産件数の前年同期差は、3 カ月の累計件数の差とする。

(注 6) 建設受注額は、2021 年 1 月より調査先を 18 社から 17 社とした。

(注 7) 有効求人倍率（季調値）と県内新規求人数（人数）は、就業地ベース。

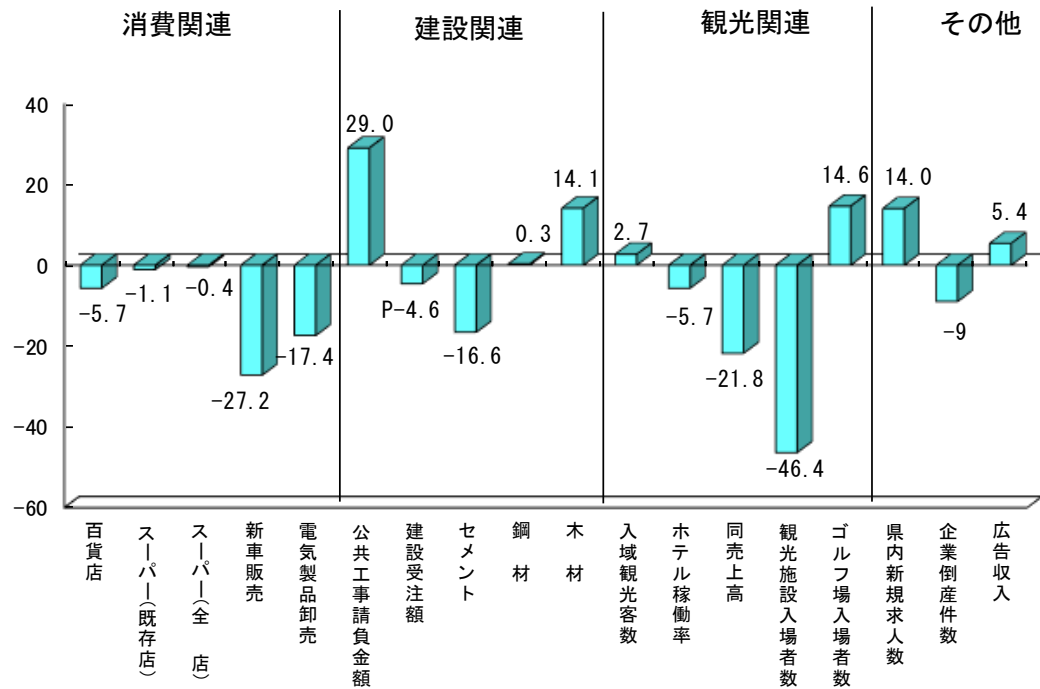
(注 8) ゴルフ場は、2021 年 4 月より調査先を 8 ゴルフ場から 6 ゴルフ場とした。

項目別グラフ(単月、2021年10月)



(注) 広告収入は21年9月分。数値は前年比(%)。Pは速報値。
ホテル稼働率(%ポイント)、企業倒産件数(件)は前年差。Pは速報値。

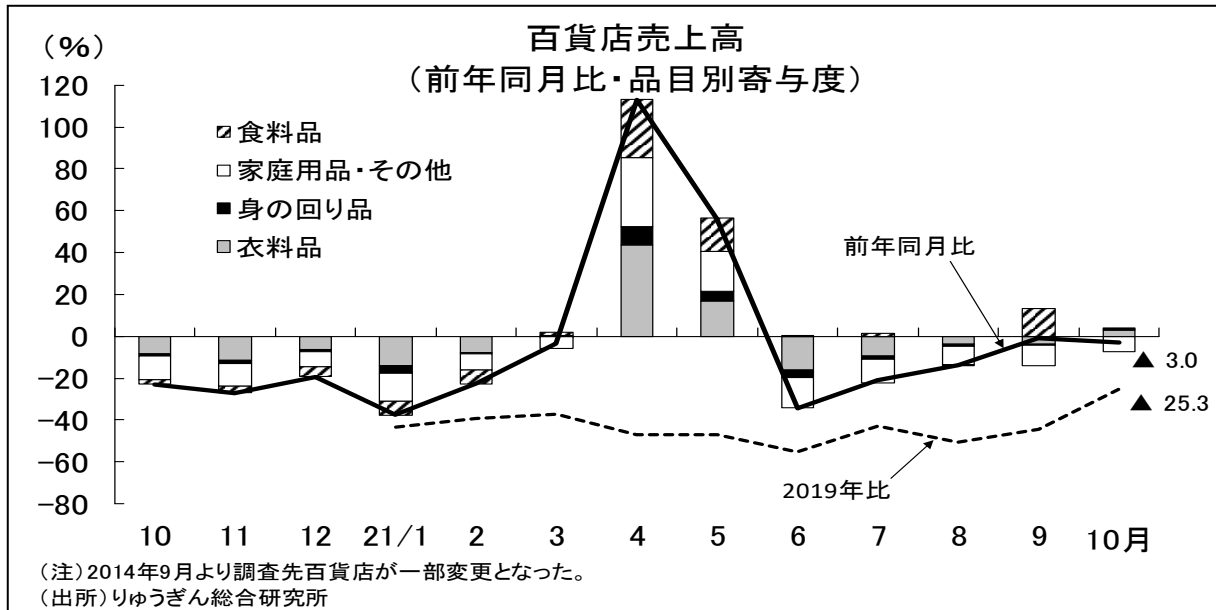
項目別グラフ(3カ月、2021年8月～2021年10月)



(注) 広告収入は21年7月～21年9月分。数値は前年比(%)。
ホテル稼働率(%ポイント)は前年差。企業倒産件数(件)は3カ月の累計件数の前年差。Pは速報値。

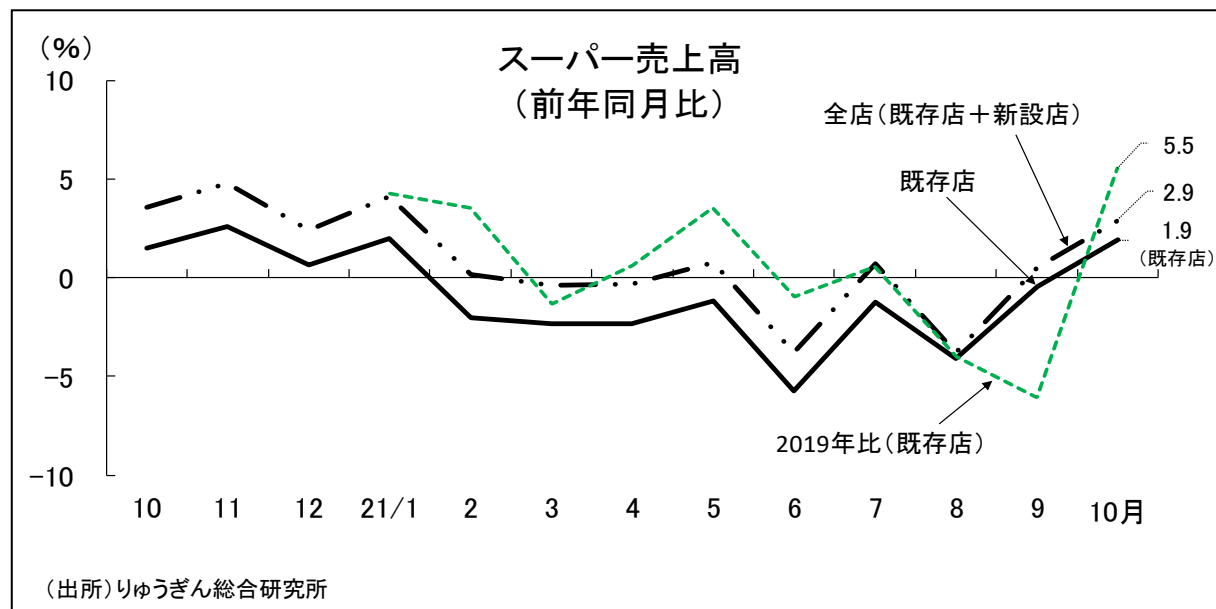
1. 消費関連

(1) 百貨店売上高：5カ月連続で減少



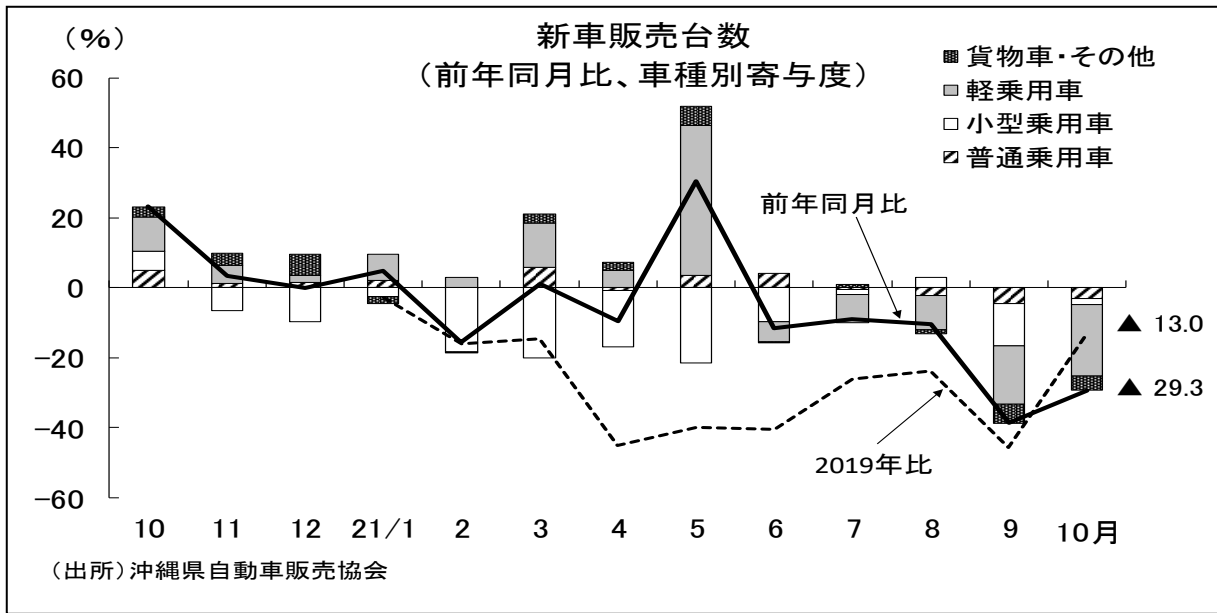
- 百貨店売上高は、催事企画やキャンペーン実施、イベントスペースでの週替わり出展などにより売上増加を図るも、緊急事態宣言解除による客足回復は鈍く前年同月比 3.0%減と5カ月連続で前年を下回った。
- 品目別にみると、食料品が同 3.0%増、身の回り品が同 3.8%増、衣料品が同 9.8%増、家庭用品・その他が同 19.8%減となった。
- 新型コロナ以前の2019年と比較した伸び率は、25.3%の減少となった。

(2) スーパー売上高：全店ベースは2カ月連続で増加



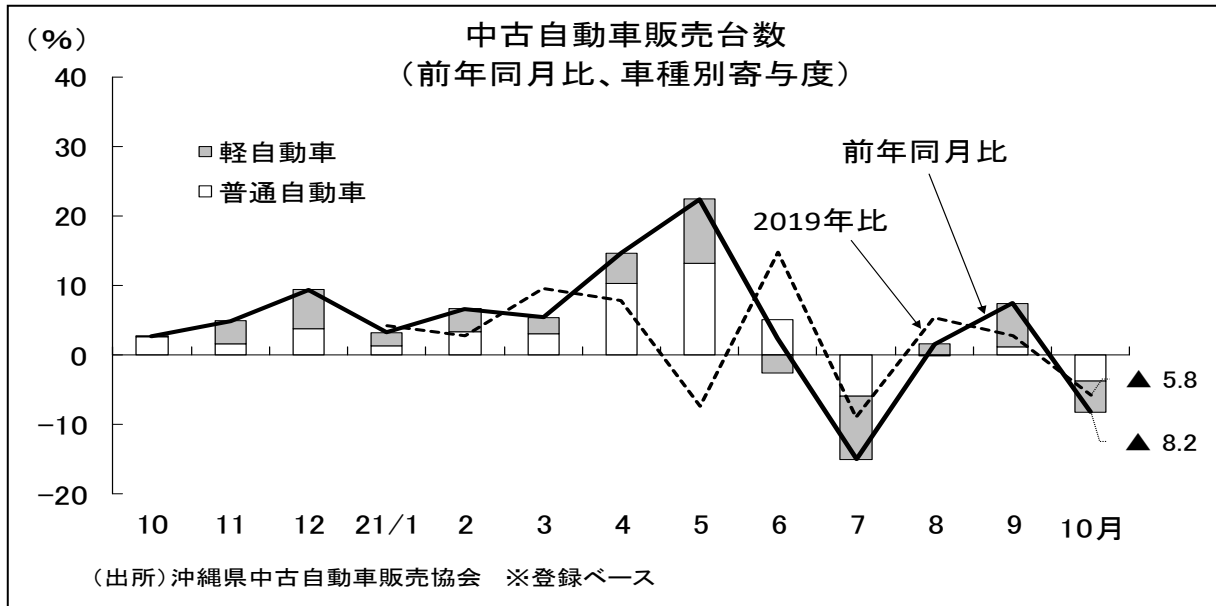
- スーパー売上高は、既存店ベースでは前年同月比 1.9%増と9カ月ぶりに前年を上回った。
- 緊急事態宣言解除に伴う来店客数増加などにより住居関連は同 3.7%増となった。食料品は、ウィズコロナの定着による巣ごもり需要の継続などにより同 1.7%増となった。衣料品は、月前半は気温が高く秋冬商材が低迷したことなどから同 0.9%減となった。
- 全店ベースでは、同 2.9%増と2カ月連続で前年を上回った。
- 新型コロナ以前の2019年と比較すると、既存店ベースでは5.5%の増加となった。

(3) 新車販売台数：5カ月連続で減少



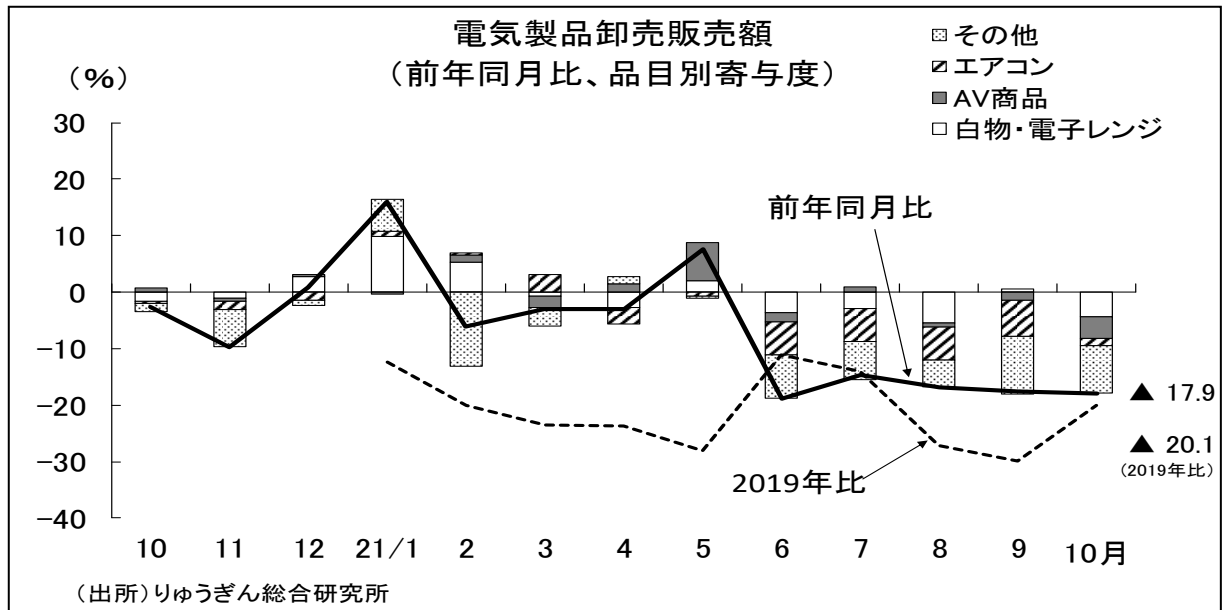
- ・ 新車販売台数は2,561台で前年同月比29.3%減と5カ月連続で前年を下回った。東南アジアでの新型コロナウイルス禍や半導体などの調達難による部品不足で新車生産が停滞し前年を下回った。
- ・ 普通自動車（登録車）は1,175台（同16.7%減）で、うち普通乗用車は445台（同20.1%減）、小型乗用車は606台（同9.7%減）であった。軽自動車（届出車）は1,386台（同37.4%減）で、うち軽乗用車は1,086台（同40.4%減）であった。
- ・ 新型コロナ以前の2019年と比較した伸び率は、13.0%の減少となった。

(4) 中古自動車販売台数（登録ベース）：2カ月ぶりに減少



- ・ 中古自動車販売台数（普通自動車及び軽自動車の合計、登録ベース）は1万8,940台で前年同月比8.2%減と2カ月ぶりに前年を下回った。
- ・ 内訳では、普通自動車は7,523台（同9.4%減）、軽自動車は1万1,417台（同7.5%減）となった。
- ・ 新型コロナ以前の2019年と比較した伸び率は、5.8%の減少となった。

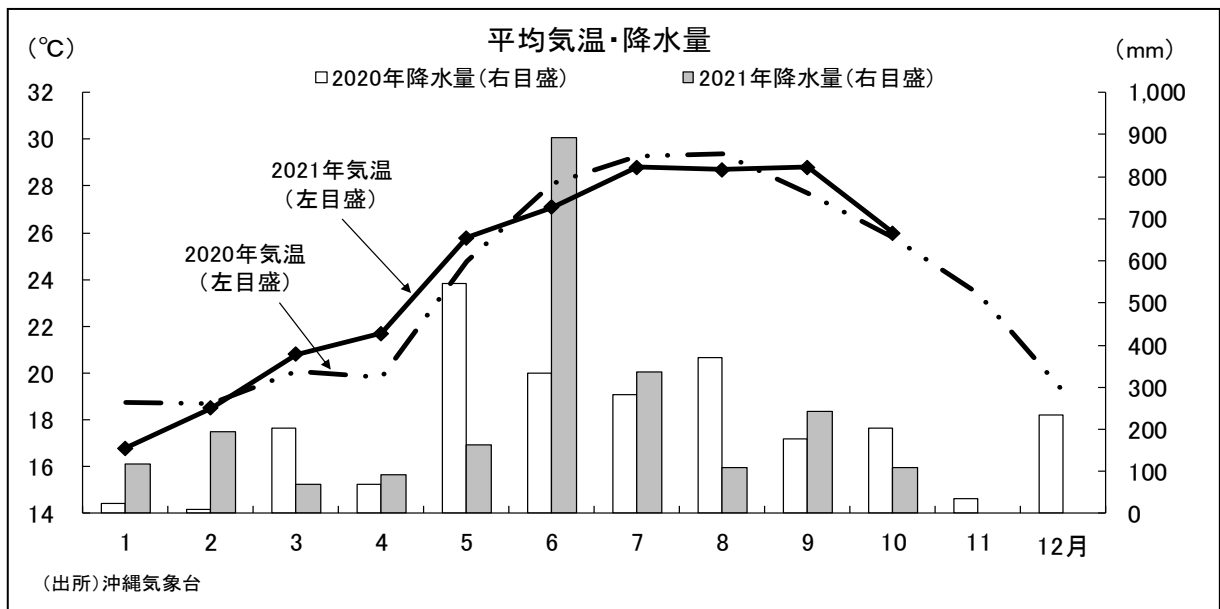
(5) 電気製品卸売販売額：5カ月連続で減少



- ・ 電気製品卸売販売額は、家電量販店向け販売で白物・電子レンジ、AV商品などが減少したことなどから、前年同月比 17.9%減と5カ月連続で前年を下回った。
- ・ 品目別にみると、白物では洗濯機が同 17.5%減、冷蔵庫が同 14.8%減、AV商品は同 24.2%減、エアコンは同 16.9%減、その他は同 17.4%減となった。
- ・ 新型コロナ以前の2019年と比較した伸び率は、20.1%の減少となった。

(参考)

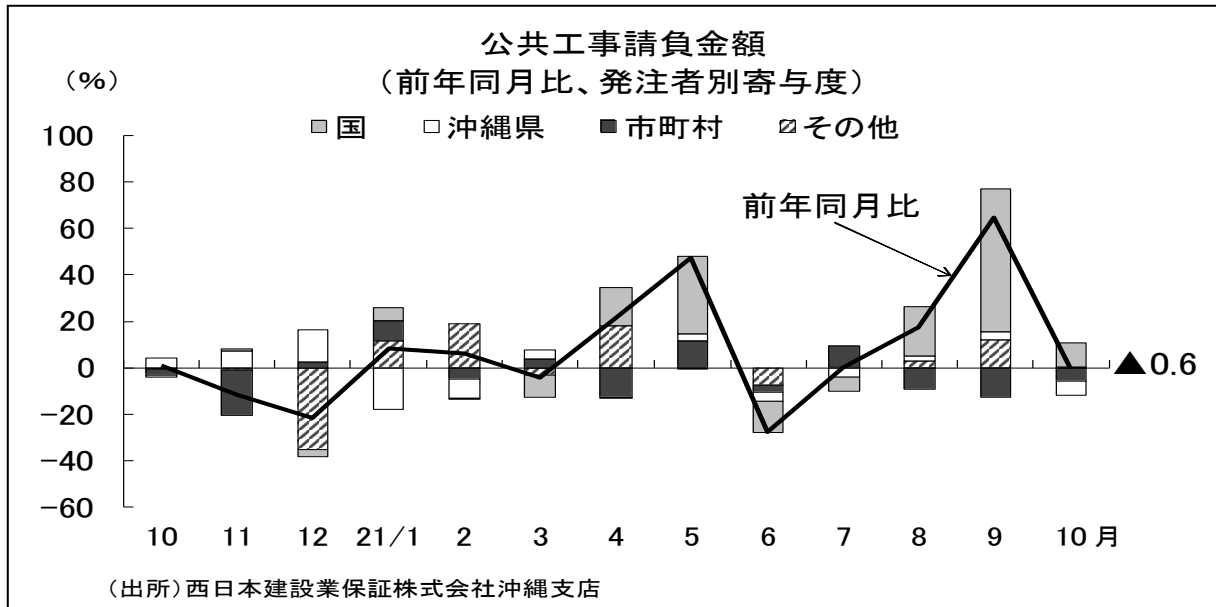
◇ 気象：平均気温・降水量（那覇）



- ・ 平均気温は 26.0℃となり、前年同月 (25.8℃) より高く、降水量は 107.5mmで前年同月 (203.0 mm) より少なかった。
- ・ 高気圧に覆われて晴れた日もあったが、台風第18号や湿った空気、大陸の高気圧の張り出しに伴う寒気などの影響で曇りや雨の日もあり、大雨や荒れた天気となった所があった。平均気温、日照時間は平年並みとなり、降水量は平年を下回った。

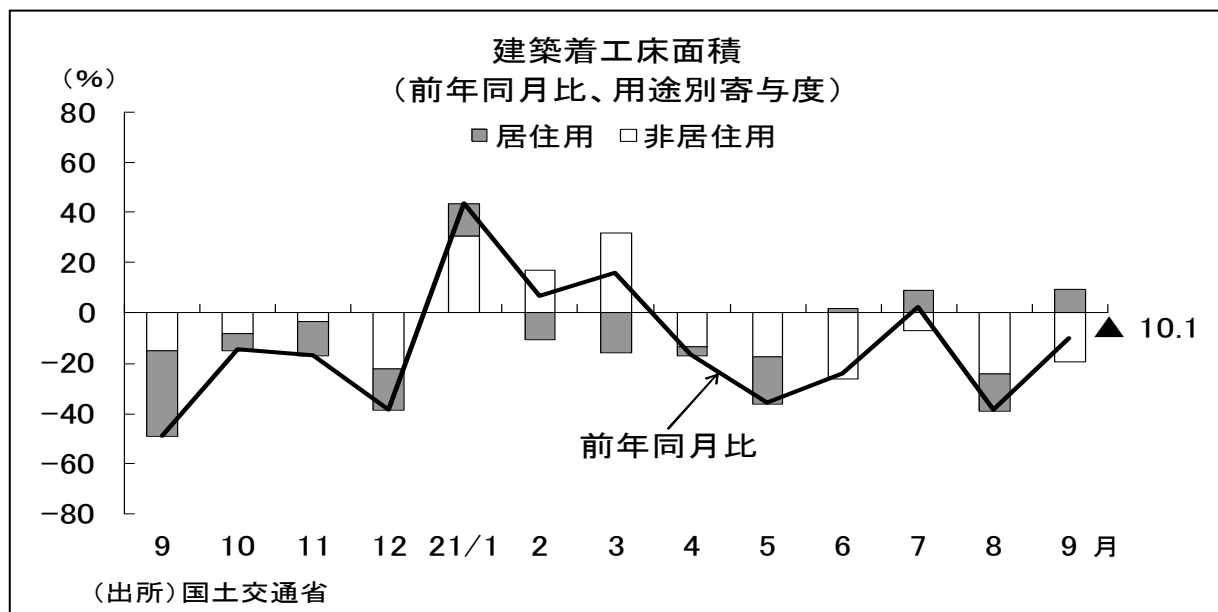
2. 建設関連

(1) 公共工事請負金額：3カ月ぶりに減少



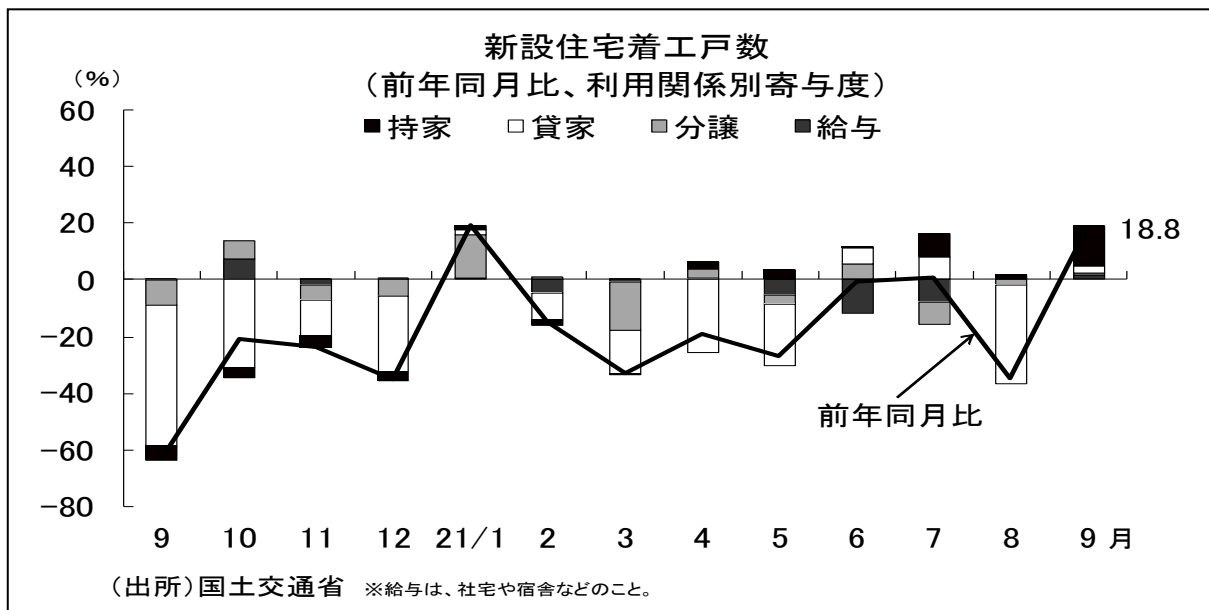
- 公共工事請負金額は、267 億 2,126 万円で、国、独立行政法人等・その他は増加したが、県、市町村は減少したことから前年同月比 0.6%減となり、3カ月ぶりに前年を下回った。
- 発注者別では、国（同 50.1%増）、独立行政法人等・その他（同 12.2%増）は増加し、県（同 19.2%減）、市町村（同 13.0%減）は減少した。

(2) 建築着工床面積：2カ月連続で減少



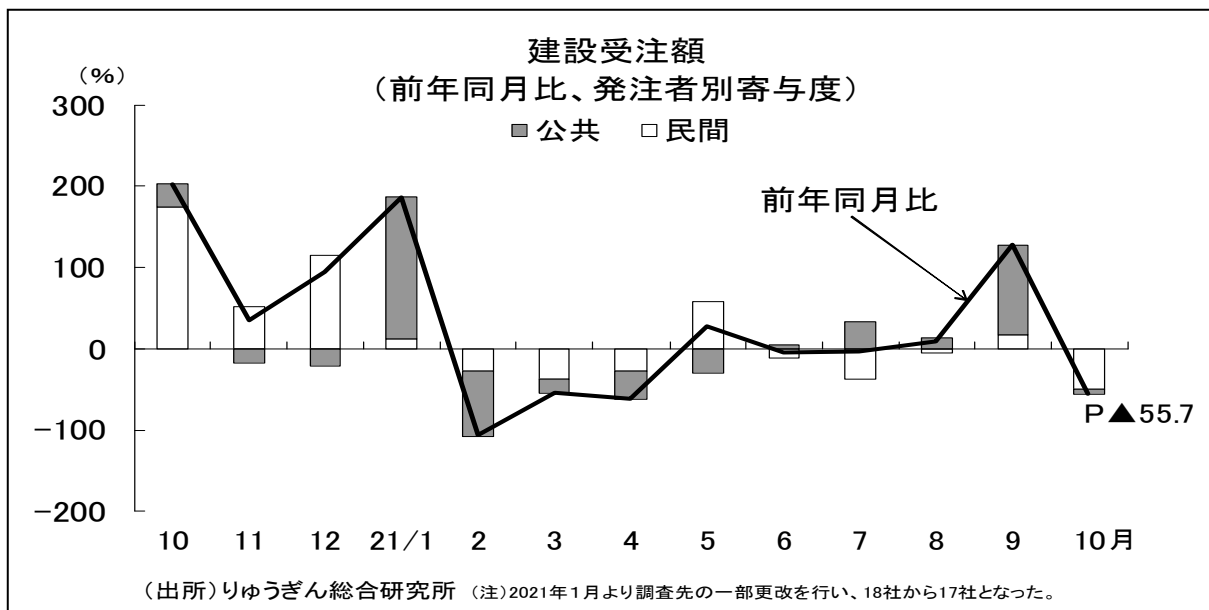
- 建築着工床面積（9月）は8万 9,104 ㎡となり、居住用は増加したものの、非居住用は減少したことから前年同月比 10.1%減と2カ月連続で前年を下回った。用途別では、居住用は同 17.2%増となり、非居住用は同 40.6%減となった。
- 建築着工床面積を用途別（大分類）にみると、居住用では、居住専用、居住産業併用ともに増加した。非居住用では、運輸業用などが増加し、飲食店・宿泊業用や公務用などが減少した。

(3) 新設住宅着工戸数：2カ月ぶりに増加



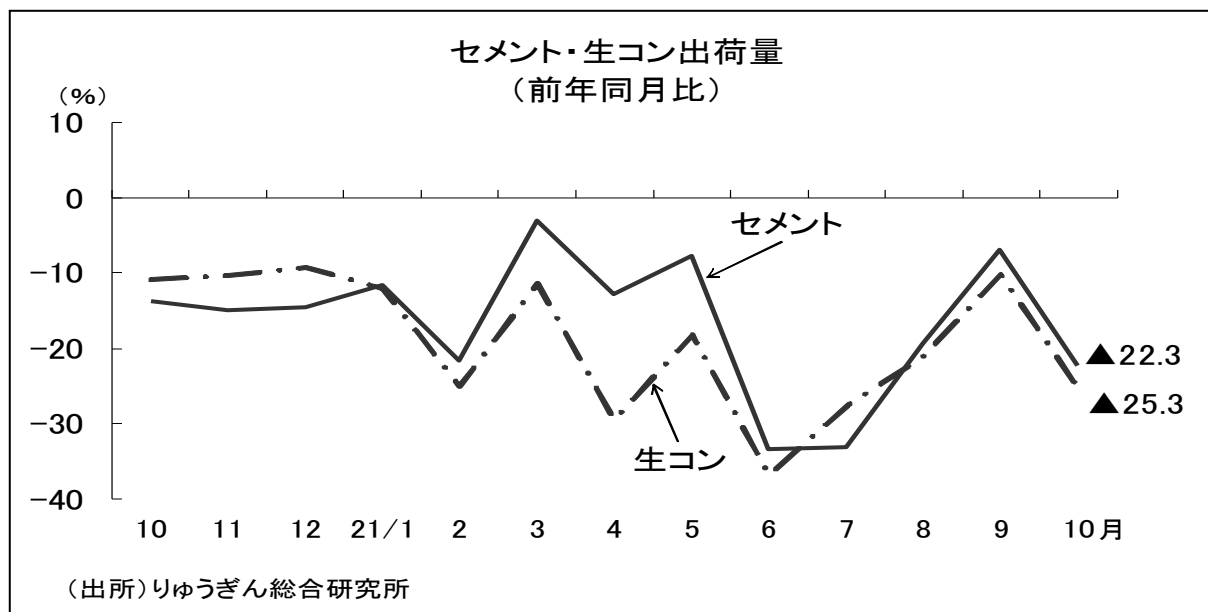
- ・ 新設住宅着工戸数（9月）は713戸となり、持家、貸家、分譲、給与のすべての項目で増加したことから前年同月比18.8%増と2カ月ぶりに前年を上回った。
- ・ 利用関係別では、持家（270戸）が同45.9%増、貸家（319戸）が同4.9%増、分譲（114戸）が同2.7%増、給与（10戸）が全増と増加した。

(4) 建設受注額：3カ月ぶりに減少



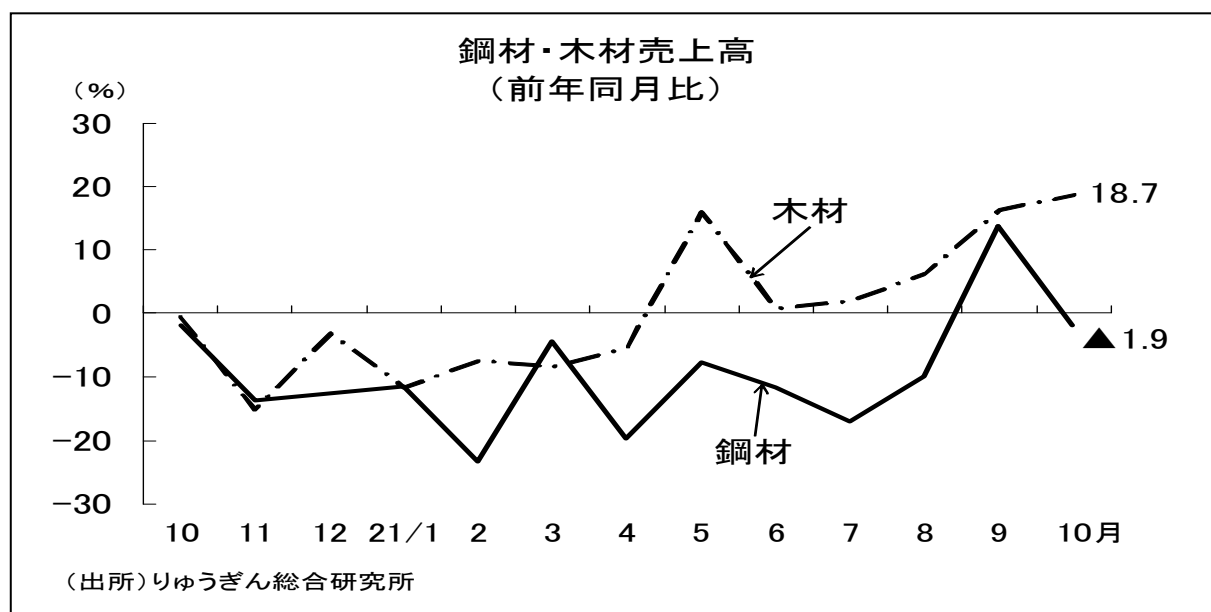
- ・ 建設受注額（調査先建設会社：17社、速報値）は、公共工事、民間工事ともに減少したことから、前年同月比55.7%減と3カ月ぶりに前年を下回った。
- ・ 発注者別では、公共工事（同21.7%減）は5カ月ぶりに減少し、民間工事（同70.2%減）は2カ月ぶりに減少した。

(5) セメント・生コン：セメントは16カ月連続で減少、生コンは16カ月連続で減少



- ・ セメント出荷量は6万3,360トンとなり、前年同月比22.3%減と16カ月連続で前年を下回った。
- ・ 生コン出荷量は10万5,928m³で同25.3%減となり、16カ月連続で前年を下回った。
- ・ 生コン出荷量を出荷先別にみると、公共工事では、県企業局向けなどが増加し、防衛省向けや海事工事向けなどが減少した。民間工事では、社屋関連向けなどが増加し、宿泊施設向けや分譲マンション向けなどが減少した。

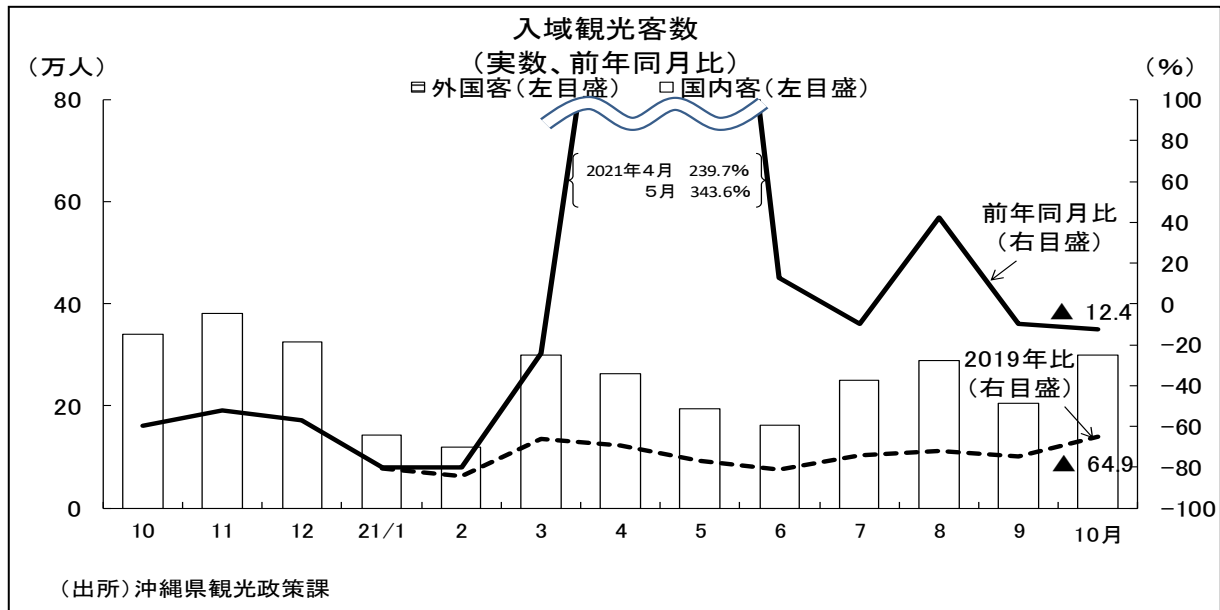
(6) 鋼材・木材：鋼材は2カ月ぶりに減少、木材は6カ月連続で増加



- ・ 鋼材売上高は、鉄スクラップなど原材料の需給ひっ迫により単価の上昇がみられるものの、分譲住宅など民間工事の引き合いが弱いことなどから前年同月比1.9%減と2カ月ぶりに前年を下回った。
- ・ 木材売上高は、需給ひっ迫により木材価格が上昇したことなどから同18.7%増と6カ月連続で前年を上回った。

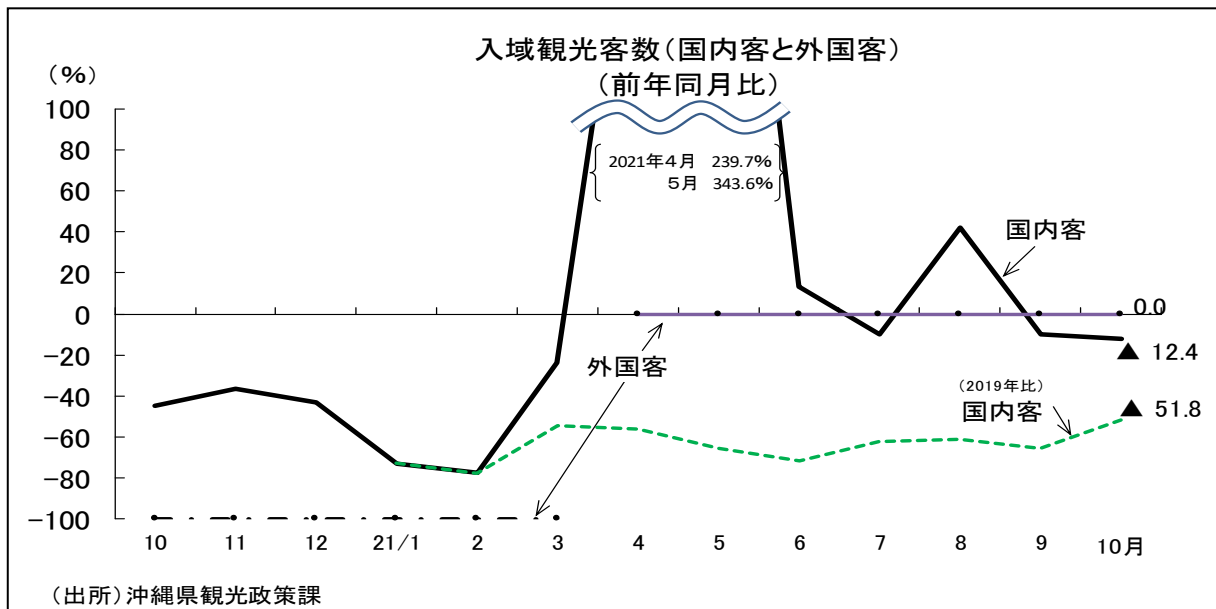
3. 観光関連

(1) 入域観光客数：2カ月連続で減少



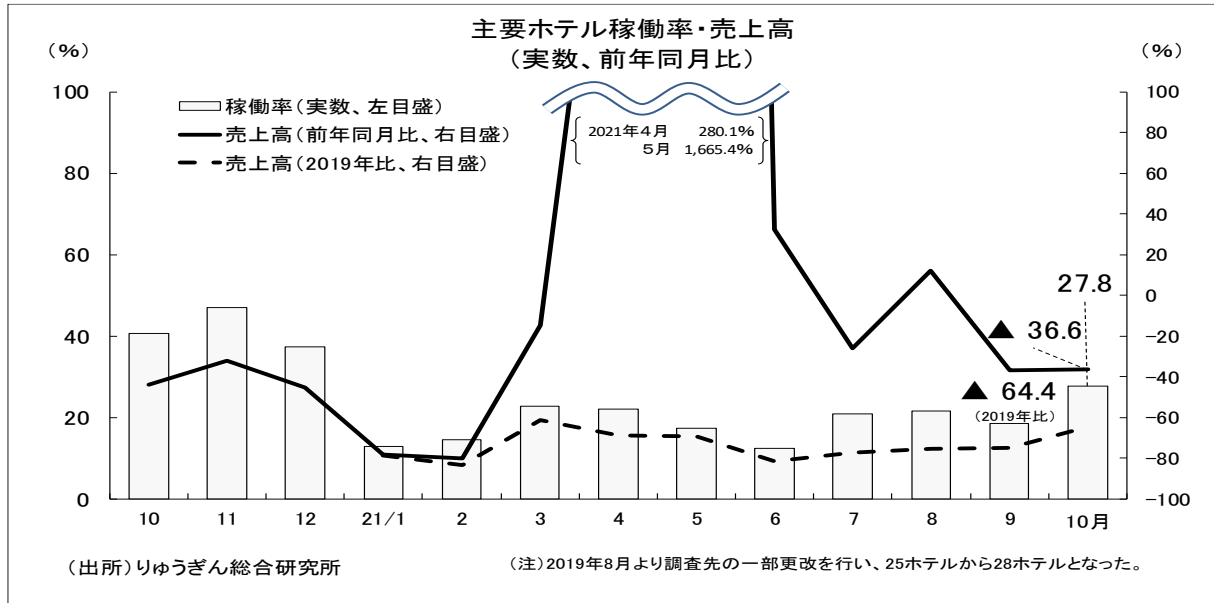
- 入域観光客数は、29万9,000人(前年同月比12.4%減)となり、2カ月連続で前年を下回った。
- 路線別では、空路は29万8,300人(同12.3%減)となり2カ月連続で前年を下回った。海路は700人(同30.0%減)となり2カ月連続で前年を下回った。
- 緊急事態宣言解除されたものの、感染状況の様子見やGoToトラベル事業等の旅行需要喚起策への期待などから旅行再開には慎重な動きがみられた。
- 新型コロナ以前の2019年と比較した伸び率は64.9%の減少となった。

(2) 入域観光客数(国内客、外国客)：国内客は減少、外国客は19カ月連続で0人



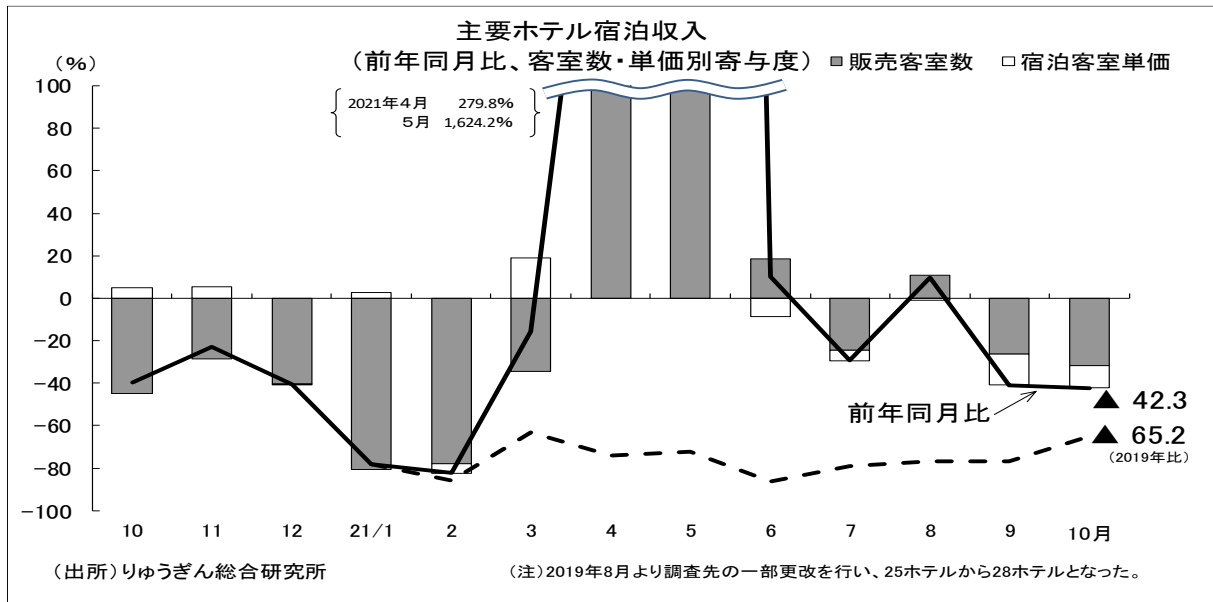
- 国内客は、29万9,000人(前年同月比12.4%減)となり、2カ月連続で前年を下回った。
- 外国客は、2020年4月以降19カ月連続で0人となった。
- 新型コロナ以前の2019年と比較した伸び率は、国内客は51.8%の減少、外国客は全減となった。

(3) 主要ホテル稼働率・売上高：稼働率、売上高ともに2カ月連続で減少



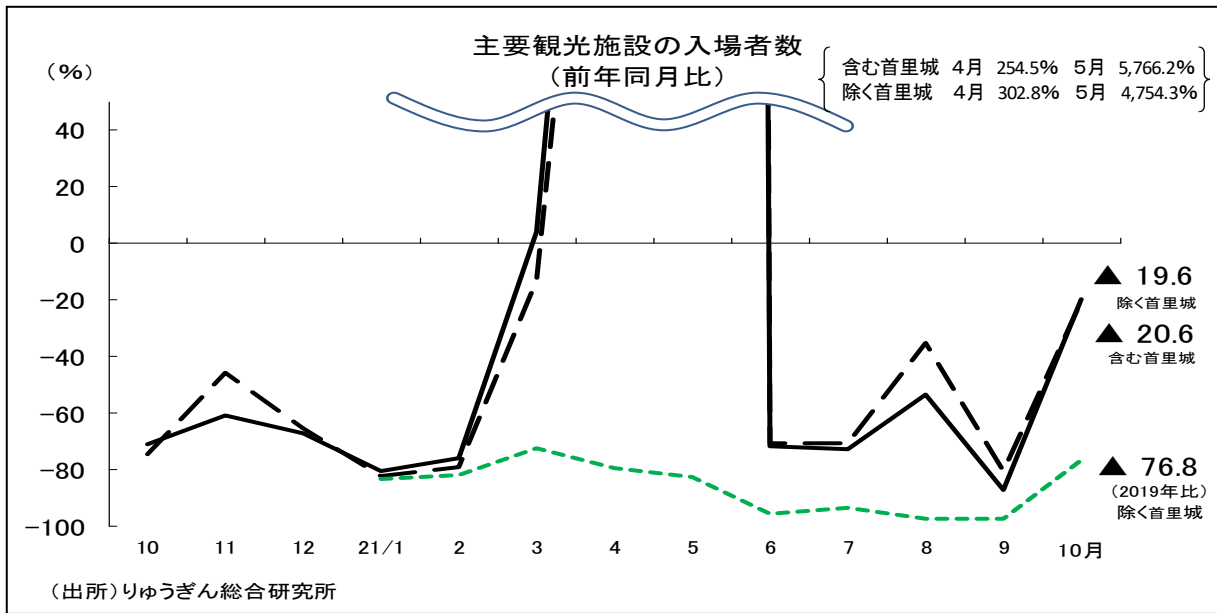
- 主要ホテルは、客室稼働率は27.8%と前年同月差12.8%ポイント低下、売上高は前年同月比36.6%減となり、稼働率、売上高ともに2カ月連続で前年を下回った。那覇市内ホテルの客室稼働率は27.4%と同5.3%ポイント低下し2カ月連続で前年を下回り、売上高は同21.9%減と4カ月連続で減少した。リゾート型ホテルの客室稼働率は27.9%と同15.9%ポイント低下、売上高は同38.7%減と、稼働率、売上高ともに2カ月連続で前年を下回った。
- 新型コロナ以前の2019年と比較した売上高は、全体は64.4%の減少、那覇市内ホテルは75.0%減少、リゾート型ホテルは61.5%減少となった。

(4) 主要ホテル宿泊収入：2カ月連続で減少



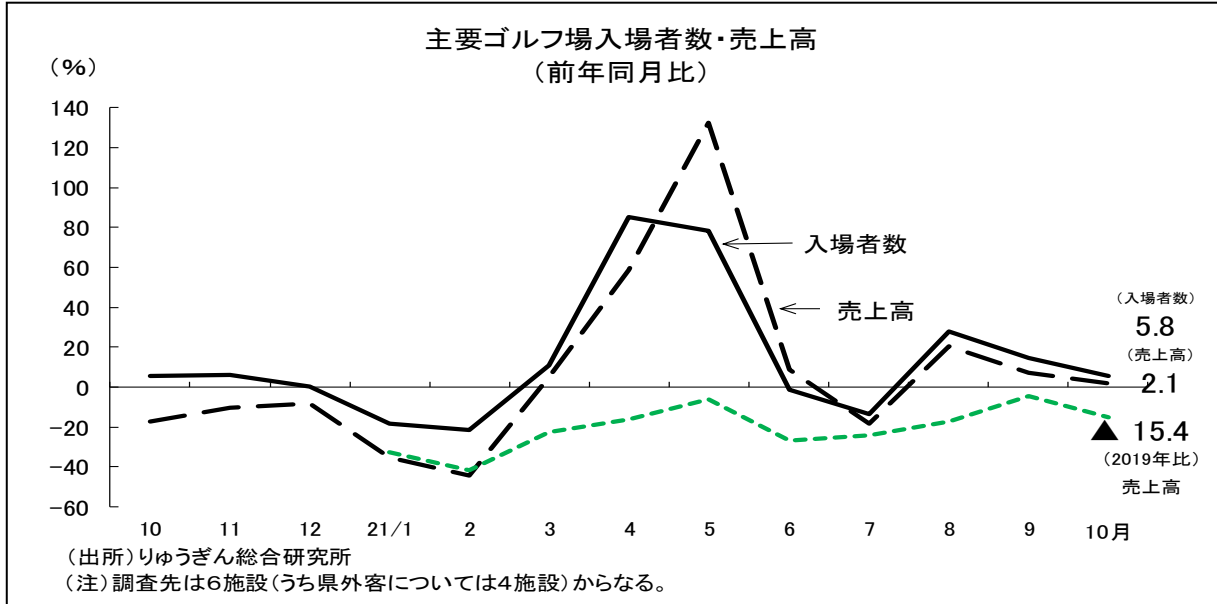
- 主要ホテル売上高のうち宿泊収入は、販売客室数（数量要因）、宿泊客室単価（価格要因）とともに低下し、前年同月比42.3%減と2カ月連続で前年を下回った。那覇市内ホテルの販売客室数、宿泊客室単価ともに低下し、同39.9%減と4カ月連続で前年を下回った。リゾート型ホテルは販売客室数、宿泊客室単価ともに低下し、同42.6%減と2カ月連続で前年を下回った。
- 新型コロナ以前の2019年と比較した宿泊収入は、全体は65.2%の減少、那覇市内ホテルは79.8%減少、リゾート型ホテルは61.4%減少となった。

(5) 主要観光施設の入場者数：5カ月連続で減少



- ・ 主要観光施設の入場者数（除く首里城）は、前年同月比 19.6%減となり 5 カ月連続で前年を下回った。首里城を含むベースは、同 20.6%減と 5 カ月連続で前年を下回った。
- ・ 緊急事態宣言が解除され県立施設等が営業を再開したことで減少幅は縮小したものの、前年 10 月は GoTo トラベルに東京都発着便が加わり観光客が増加した影響を受けた。
- ・ 新型コロナ以前の 2019 年と比較した入場者数は、首里城を除くベースは 76.8%減少、首里城を含むベースは 96.4%減少となった。

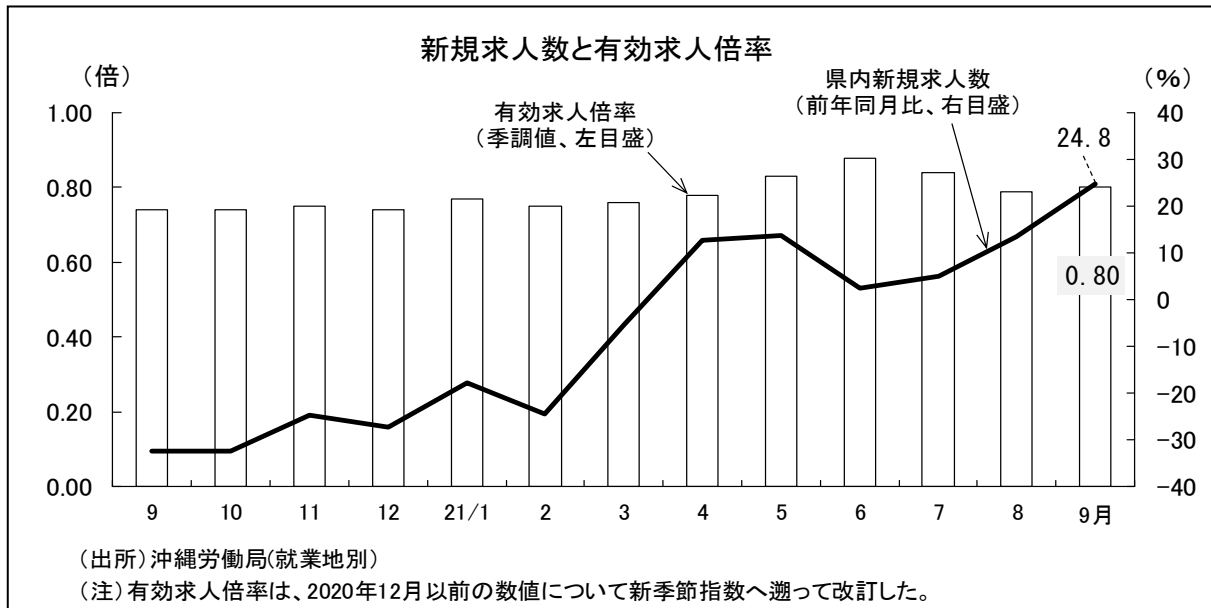
(6) 主要ゴルフ場入場者数・売上高：入場者数、売上高ともに 3 カ月連続で増加



- ・ 主要ゴルフ場の入場者数は、前年同月比 5.8%増と 3 カ月連続で前年を上回った。県内客は 3 カ月連続で前年を上回り、県外客は 2 カ月ぶりに前年を下回った。売上高は同 2.1%増と 3 カ月連続で前年を上回った。
- ・ 緊急事態宣言が解除され、県内客を中心に入場者数が増加した。またアルコール提供やコンペ後の表彰式開催が可能となったことからレストラン利用も増加し売上を後押しした。
- ・ 新型コロナ以前の 2019 年と比較すると、入場者数は 11.5%増加（県内客は増加、県外客は減少）、売上高は 15.4%の減少となった。

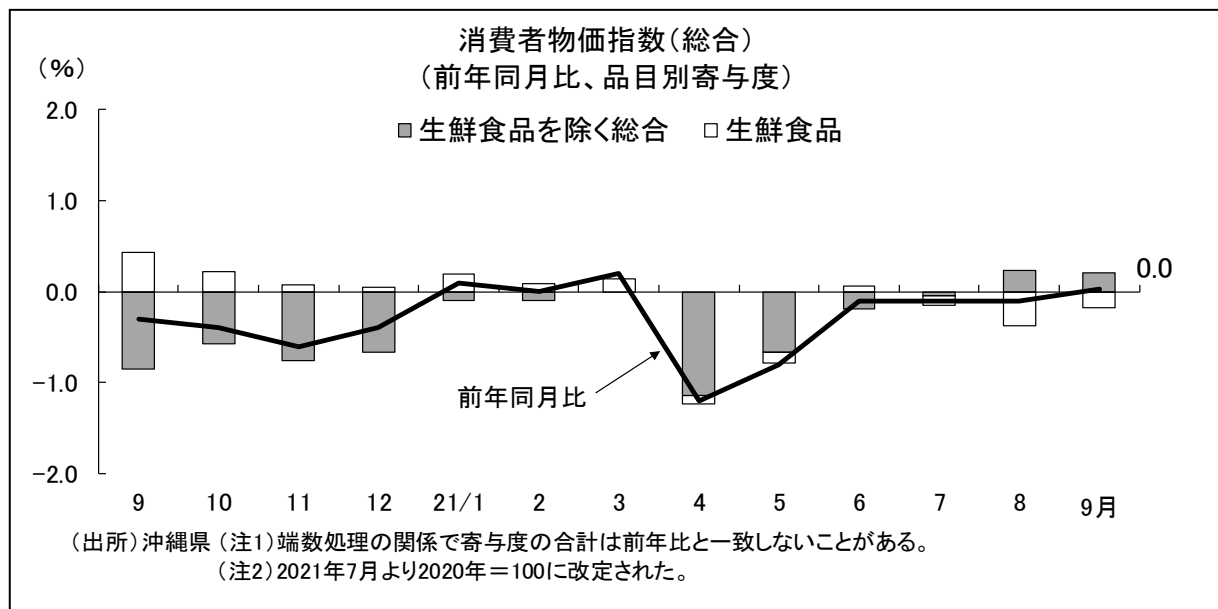
4. その他

(1) 雇用関連（再掲）：新規求人数は増加、有効求人倍率（季調値）は上昇



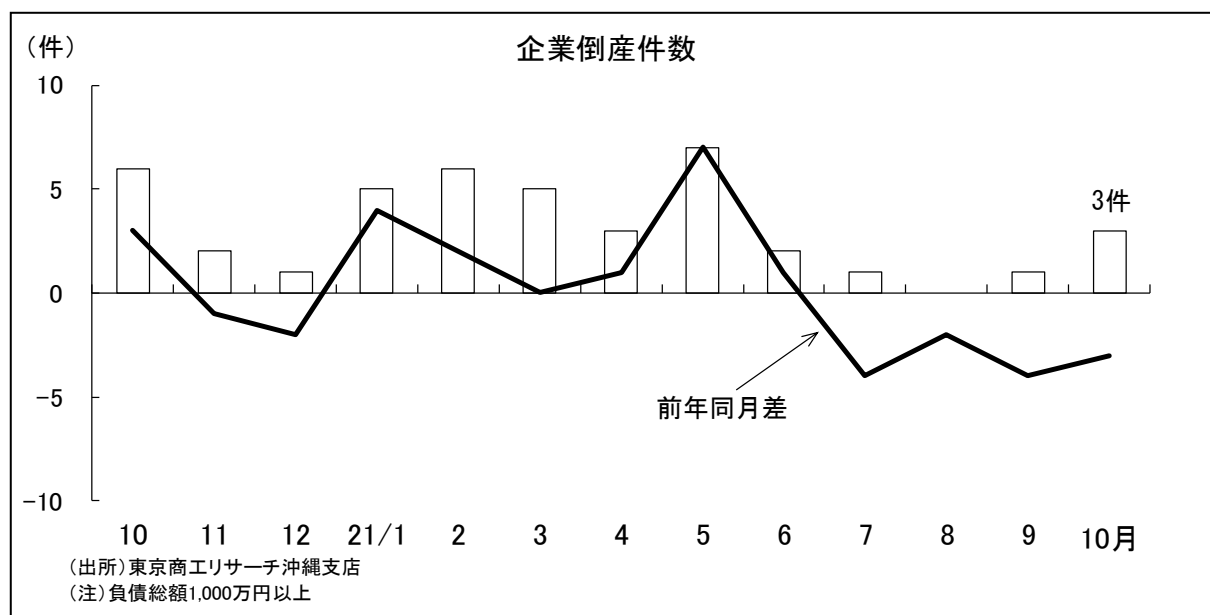
- ・ 新規求人数（9月）は、前年同月比 24.8%増となり 6 カ月連続で前年を上回った。産業別にみると、宿泊業・飲食サービス業や製造業などで増加した。有効求人倍率（9月、季調値）は 0.80 倍と、前月より 0.01 ポイント上昇した。
- ・ 労働力人口（9月）は、75 万 7,000 人で同 0.3%増となり、就業者数は、73 万人で同 0.6%増となった。完全失業者数（9月）は 2 万 7,000 人で同 3.6%減となり、完全失業率（9月、季調値）は 3.2%と、前月より 0.4 ポイント低下した。

(2) 消費者物価指数（再掲）：同水準で推移



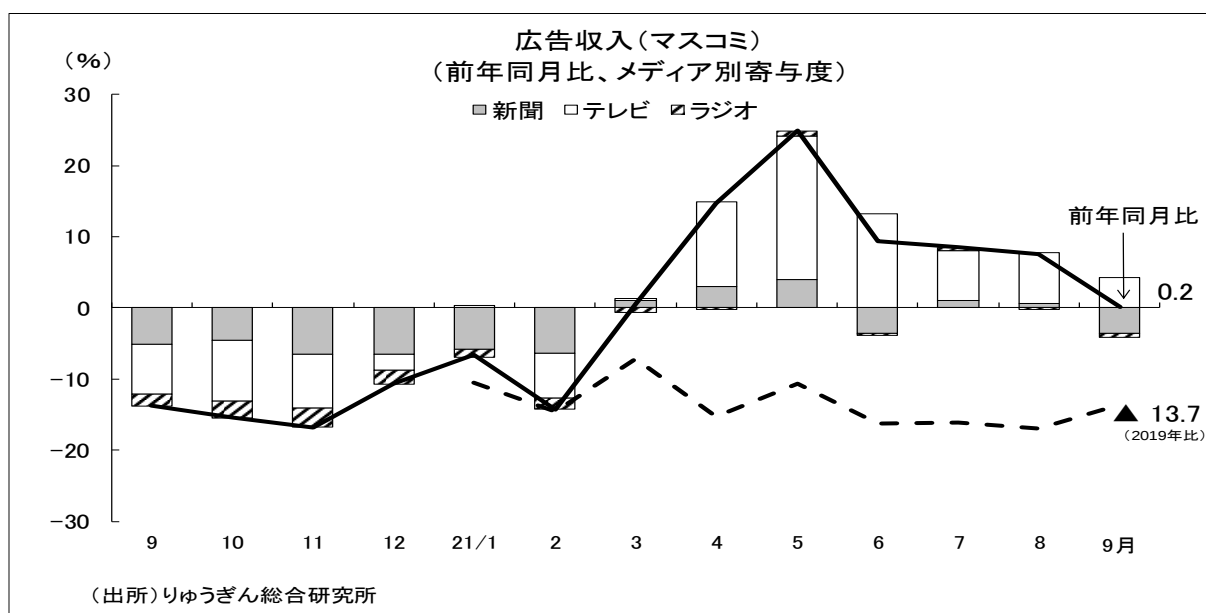
- ・ 消費者物価指数（9月）は、前年同月比で同水準となった。生鮮食品を除く総合は同 0.2%増となった。
- ・ 品目別の動きをみると、光熱・水道などは上昇し、交通・通信、食料などは下落した。

(3) 企業倒産：件数は減少、負債総額は増加



- ・ 倒産件数は、3件で前年同月を3件下回った。業種別では、運輸業1件（同1件増）、サービス業他2件（同数）となった。
- ・ 負債総額は4億3,400万円で、前年同月比20.6%増となった。

(4) 広告収入（マスコミ）：7カ月連続で増加



- ・ 広告収入（マスコミ：9月）は、前年同月比0.2%増と7カ月連続で前年を上回った。
- ・ 2020年9月は観光客も回復傾向となり経済活動に動きがでてきた時期であり、増加幅は縮小した。
- ・ 新型コロナ以前の2019年と比較すると、13.7%の減少となった。

沖縄県内の主要経済指標……………17

〃 金融統計……………19

沖縄県内の主要経済指標(その1)

	百貨店 売上高	スーパー 売上高 (既存店)	スーパー 売上高 (全 店)	電気製品 卸売額	新車販売 台 数	中古自動 車販売台 数	公共工事請負額		建築着工床面積	
暦年	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	百万円	前年比	千平米	前年比
2018	1.9	▲ 0.6	1.7	▲ 4.5	5.9	▲ 0.7	346,669	▲ 1.3	2,293	1.9
2019	▲ 4.8	▲ 0.1	1.4	11.3	▲ 0.7	3.6	326,534	▲ 5.8	1,849	▲ 19.4
2020	▲ 35.1	0.4	2.5	▲ 2.8	▲ 17.1	0.5	308,119	▲ 5.6	1,555	▲ 15.9
2020 9	▲ 44.0	▲ 7.5	▲ 5.6	▲ 15.0	▲ 11.4	▲ 4.3	32,749	0.7	99	▲ 49.2
10	▲ 23.0	1.5	3.6	▲ 2.7	23.1	2.7	26,886	0.7	140	▲ 14.7
11	▲ 27.0	2.6	4.7	▲ 9.7	3.3	4.8	18,076	▲ 12.0	113	▲ 17.0
12	▲ 19.3	0.6	2.4	0.8	▲ 0.2	9.4	17,672	▲ 21.9	84	▲ 38.6
2021 1	▲ 37.7	2.0	4.1	16.1	4.9	3.2	16,342	7.9	121	43.5
2	▲ 22.6	▲ 2.0	0.1	▲ 6.1	▲ 15.6	6.6	15,448	5.8	121	6.5
3	▲ 3.5	▲ 2.3	▲ 0.4	▲ 2.9	1.0	5.4	34,094	▲ 4.5	203	15.9
4	113.0	▲ 2.3	▲ 0.3	▲ 23.1	▲ 9.5	14.6	28,352	21.3	146	▲ 16.8
5	56.4	▲ 1.2	0.8	7.7	30.4	22.4	28,056	47.3	87	▲ 36.1
6	▲ 34.3	▲ 5.7	▲ 3.8	▲ 18.8	▲ 11.7	2.3	21,608	▲ 27.9	122	▲ 24.5
7	▲ 20.8	▲ 1.2	0.7	▲ 14.6	▲ 9.1	▲ 15.0	44,439	▲ 0.3	129	2.2
8	▲ 13.7	▲ 4.1	▲ 3.8	▲ 16.8	▲ 10.5	1.5	35,562	17.2	90	▲ 38.9
9	▲ 1.2	▲ 0.4	0.5	▲ 17.5	▲ 38.7	7.4	53,814	64.3	89	▲ 10.1
10	▲ 3.0	1.9	2.9	▲ 17.9	▲ 29.3	▲ 8.2	26,721	▲ 0.6	-	-
出所	りゅうぎん総合研究所調べ				自販協	中古 自販協	西日本建設業保証 沖縄支店		国土交通省	

注) 百貨店売上高は、2014年9月より調査先が一部変更となった。

注) 新車販売台数の出所は沖縄県自動車販売協会、中古自動車販売台数は沖縄県中古自動車販売協会。

	新設住宅着工戸数		建 設 受注額	セメント 出荷数量	生コン 出荷数量	鋼 材 売上高	木 材 売上高	観光施設 入場者数	ゴルフ場 入場者数	広告 収入
暦年	戸	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比
2018	16,803	1.3	9.3	▲ 1.8	▲ 4.2	2.7	10.6	▲ 2.6	▲ 1.2	▲ 2.4
2019	15,098	▲ 10.1	▲ 11.9	0.3	1.4	4.0	7.2	0.8	▲ 0.9	▲ 2.2
2020	10,703	▲ 29.1	3.1	▲ 10.0	▲ 10.4	▲ 11.6	▲ 11.6	▲ 71.6	▲ 7.6	▲ 15.7
2020 9	600	▲ 63.4	▲ 30.7	▲ 13.3	▲ 13.2	▲ 25.6	▲ 25.1	▲ 78.9	3.3	▲ 13.8
10	985	▲ 20.9	202.4	▲ 13.7	▲ 10.9	▲ 1.9	▲ 0.6	▲ 71.1	5.4	▲ 15.5
11	862	▲ 23.7	35.0	▲ 14.9	▲ 10.3	▲ 13.9	▲ 15.1	▲ 60.9	5.9	▲ 16.8
12	804	▲ 35.4	94.3	▲ 14.6	▲ 9.3	▲ 12.7	▲ 3.1	▲ 67.3	0.4	▲ 10.7
2021 1	798	19.1	186.3	▲ 11.7	▲ 12.0	▲ 11.5	▲ 11.7	▲ 80.4	▲ 18.2	▲ 6.7
2	751	▲ 15.0	▲ 107.4	▲ 21.7	▲ 25.1	▲ 23.5	▲ 7.4	▲ 76.0	▲ 21.4	▲ 14.2
3	731	▲ 33.2	▲ 54.9	▲ 3.0	▲ 11.4	▲ 4.5	▲ 8.4	4.2	11.0	0.6
4	913	▲ 19.1	▲ 61.9	▲ 12.9	▲ 29.5	▲ 19.9	▲ 5.4	302.8	84.9	14.7
5	744	▲ 27.0	27.0	▲ 7.8	▲ 18.2	▲ 7.8	16.0	4,754.3	78.4	24.9
6	761	▲ 0.8	▲ 5.6	▲ 33.6	▲ 36.8	▲ 11.7	0.8	▲ 71.8	▲ 1.6	9.4
7	901	0.6	▲ 3.6	▲ 33.2	▲ 27.6	▲ 17.1	2.0	▲ 72.6	▲ 13.6	8.5
8	646	▲ 34.9	8.9	▲ 19.5	▲ 21.0	▲ 10.0	6.2	▲ 53.6	27.8	7.5
9	713	18.8	127.4	▲ 7.0	▲ 10.2	13.8	16.4	▲ 87.2	14.6	0.2
10	-	-	P▲55.7	▲ 22.3	▲ 25.3	▲ 1.9	18.7	▲ 19.6	5.8	-
出所	国土交通省		りゅうぎん総合研究所調べ							

注) 建設受注額は、2021年1月より調査先を18社から17社とした。

注) ゴルフ場入場者数は、2021年4月より調査先を8ゴルフ場から6ゴルフ場とした。

沖縄県内の主要経済指標(その2)

暦年	入域観光客数		入域観光客数 のうち外国客		ホテル稼働率 (実数)		ホテル売上高 (前年比)		鉱工業生産指数 (季調値)	
	千人	前年比	千人	前年比	市内	リゾート	市内	リゾート	2015年=100	前年比
2018	9,847.7	4.8	2,903.8	14.2	80.5	71.9	▲ 0.3	▲ 2.3	90.0	▲ 2.6
2019	10,163.9	3.2	2,930.0	0.9	80.9	69.7	▲ 2.2	▲ 3.4	87.1	▲ 3.2
2020	3,736.6	▲ 63.2	256.9	▲ 91.2	31.7	31.4	▲ 60.1	▲ 59.5	-	-
2020 9	227.6	▲ 71.9	0.0	▲ 100.0	18.7	27.7	▲ 77.2	▲ 56.4	70.9	▲ 17.0
10	341.2	▲ 59.9	0.0	▲ 100.0	32.7	43.8	▲ 68.0	▲ 37.2	72.1	▲ 16.3
11	381.1	▲ 52.3	0.0	▲ 100.0	44.2	48.0	▲ 63.7	▲ 19.7	75.6	▲ 10.9
12	326.2	▲ 56.8	0.0	▲ 100.0	38.8	36.6	▲ 63.8	▲ 38.4	72.1	▲ 7.5
2021 1	144.0	▲ 80.2	0.0	▲ 100.0	13.7	12.4	▲ 82.5	▲ 76.8	77.2	▲ 7.9
2	118.8	▲ 79.9	0.0	▲ 100.0	18.3	13.1	▲ 77.8	▲ 81.3	81.2	▲ 18.9
3	299.2	▲ 24.5	0.0	▲ 100.0	24.4	22.1	▲ 33.7	▲ 9.2	94.4	▲ 14.8
4	262.6	239.7	0.0	0.0	21.4	22.3	118.6	338.8	81.1	▲ 10.8
5	195.2	343.6	0.0	0.0	16.8	17.4	526.4	2,358.3	72.2	10.2
6	162.9	13.0	0.0	0.0	15.0	11.3	3.9	78.4	68.2	▲ 7.9
7	250.4	▲ 9.7	0.0	0.0	22.2	20.4	▲ 30.4	▲ 25.5	68.5	▲ 9.8
8	288.2	42.1	0.0	0.0	21.1	21.9	▲ 25.4	17.2	65.7	▲ 10.5
9	204.9	▲ 10.0	0.0	0.0	17.5	18.8	▲ 32.0	▲ 37.5	-	-
10	299.0	▲ 12.4	0.0	0.0	27.4	27.9	▲ 21.9	▲ 38.7	-	-
出所	県文化観光スポーツ部 観光政策課				りゅうぎん総合研究所調べ				県企画部統計課	

注) ホテルは、2019年8月より調査先が25ホテルから28ホテルとなった。

注) 2012年5月より外国客の入域観光客数を掲載した。

注) 鉱工業生産指数の暦年値、前年比は原指数の増減率。2019年4月より2015年=100に改定された。

暦年	企業倒 産件数	負債総額		消費者 物価指数	失業率 (季調値)	就業者数	有効求人 倍率 (季調値)	新 規 求人数 (県内)	通関 輸出	通関 輸入
	件	百万円	前年比	前年比	%	前年比	倍	前年比	百万円	百万円
2018	44	12,416	99.5	0.9	3.4	2.3	1.31	3.6	28,543	175,452
2019	50	5,714	▲ 54.0	0.4	2.7	2.7	1.34	3.3	31,126	148,698
2020	34	3,640	▲ 36.3	▲ 0.3	3.3	0.1	0.90	▲ 27.2	30,063	120,799
2020 9	5	84	▲ 92.0	▲ 0.6	3.3	0.6	0.74	▲ 32.3	1,212	8,390
10	6	360	318.6	▲ 0.4	3.6	▲ 1.6	0.74	▲ 32.5	2,917	7,088
11	2	87	▲ 86.8	▲ 0.7	3.3	0.5	0.75	▲ 24.8	1,471	6,368
12	1	88	▲ 72.3	▲ 0.7	3.9	0.4	0.74	▲ 27.3	1,025	9,511
2021 1	5	312	940.0	0.0	3.9	▲ 0.9	0.77	▲ 17.7	1,516	6,543
2	6	454	▲ 14.3	▲ 0.1	3.7	▲ 1.2	0.75	▲ 24.5	1,338	7,295
3	5	5,753	541.4	0.3	4.4	▲ 1.2	0.76	▲ 5.5	4,472	7,239
4	3	37	23.3	▲ 0.4	3.9	2.9	0.78	12.7	16,931	7,333
5	7	1,359	100.0	▲ 0.2	3.4	0.8	0.83	13.6	1,879	9,946
6	2	337	▲ 31.2	0.5	3.7	0.0	0.88	2.5	1,823	7,891
7	1	154	▲ 82.1	▲ 0.1	4.5	▲ 0.7	0.84	4.9	1,327	11,308
8	0	0	▲ 100.0	▲ 0.1	3.6	0.4	0.79	13.6	1,720	23,380
9	1	26	▲ 69.0	0.0	3.2	0.6	0.80	24.8	1,966	7,481
10	3	434	20.6	-	-	-	-	-	4,299	14,005
出所	東京商工リサーチ沖縄支店			県企画部統計課			沖縄労働局		沖縄地区税関	

注) 消費者物価指数は、2021年7月より2020年=100に改定された。

注) 失業率と有効求人倍率は、2020年12月以前の数値について新季節指数へ遡って改訂した。

注) 有効求人倍率(季調値)と新規求人数は、就業地ベース。

沖縄県内の金融統計

	銀行券 発行額	銀行券 還収額	銀行券 増減 (▲還収超)	貸出 金利 (地銀3行)	手形交換高(金額は億円)				不渡実数 (金額)	不渡 発生率
年度	億円	億円	億円	%	千枚	前年比	金額	前年比	百万円	%
2018FY	2,511	4,092	▲ 1,582	1.506	201	▲ 4.7	3,599	▲ 2.1	24	0.007
2019FY	2,658	4,076	▲ 1,415	1.465	189	▲ 5.9	3,381	▲ 6.0	5	0.002
2020FY	3,019	2,812	207	1.399	165	▲ 13.1	3,016	▲ 10.8	7	0.002
2020 9	201	237	▲ 35	1.410	13	▲ 23.0	234	▲ 21.2	0	0.000
10	203	315	▲ 112	1.406	13	▲ 18.1	211	▲ 20.5	1	0.007
11	250	243	6	1.404	14	5.0	269	28.1	0	0.000
12	486	179	306	1.399	13	▲ 19.8	218	▲ 24.5	0	0.000
2021 1	77	380	▲ 303	1.396	12	▲ 25.8	212	▲ 27.0	3	0.012
2	189	190	▲ 1	1.389	12	▲ 11.0	216	0.7	0	0.000
3	198	269	▲ 70	1.386	16	▲ 8.0	299	▲ 5.3	0	0.000
4	316	180	136	1.385	14	▲ 7.2	251	▲ 13.6	3	0.012
5	130	284	▲ 154	1.374	13	5.2	242	8.7	0	0.000
6	233	239	▲ 6	1.371	14	▲ 17.3	257	▲ 14.5	0	0.000
7	245	200	45	1.369	12	▲ 20.3	199	▲ 29.9	0	0.000
8	219	225	▲ 6	1.367	14	0.9	281	7.7	0	0.000
9	215	250	▲ 35	1.366	12	▲ 4.7	216	▲ 7.8	0	0.001
10	—	—	—	—	11	▲ 16.8	184	▲ 12.4	1	0.005
出所	日本銀行那覇支店				那覇手形交換所					

注) 銀行券増減は、端数調整により一致しない場合がある。

注) 貸出金利は、暦年ベース。

注) 不渡発生率は、不渡実数(金額)÷手形交換高(金額)×100

	地銀3行預金量 (信託勘定含む末残)		地銀3行融資量 (信託勘定含む末残)		県内金融機関 の預金残高 (末残)		沖縄振興開発 金融公庫融資量 (末残)		沖縄県信用保証協会 債務残高(末残)	
年度	億円	前年比	億円	前年比	億円	前年比	億円	前年比	億円	前年比
2018FY	48,679	2.5	38,613	5.0	49,141	3.4	8,587	1.1	1,202	2.5
2019FY	49,931	2.6	39,293	1.8	50,358	2.5	8,641	0.6	1,225	1.9
2020FY	55,734	11.6	40,847	4.0	56,384	12.0	10,320	19.4	2,865	133.8
2020 9	54,537	9.2	40,043	3.9	55,062	9.4	10,166	21.1	2,362	102.1
10	54,812	10.2	40,029	4.0	55,367	10.4	10,228	22.1	2,452	108.6
11	55,404	10.3	40,106	4.0	55,939	10.5	10,266	22.8	2,516	114.5
12	55,474	10.7	40,259	3.9	56,097	11.1	10,392	22.8	2,606	120.8
2021 1	55,315	11.7	40,323	3.9	55,933	12.0	10,378	22.7	2,677	126.6
2	55,647	11.7	40,652	4.4	56,271	12.1	10,387	22.9	2,720	130.0
3	55,734	11.6	40,847	4.0	56,384	12.0	10,320	19.4	2,865	133.8
4	57,066	10.6	40,714	4.2	57,685	10.9	10,326	16.3	2,958	119.2
5	57,305	8.6	40,752	3.5	57,922	8.9	10,327	11.4	2,981	100.3
6	57,507	6.1	40,754	3.0	58,131	6.4	10,378	6.8	2,988	67.6
7	57,281	5.8	40,763	2.5	57,962	6.1	10,422	4.6	2,993	47.8
8	57,394	4.8	40,751	2.0	58,038	5.0	10,419	3.3	2,997	35.5
9	57,072	4.6	41,019	2.4	57,742	4.9	10,534	3.6	2,995	26.8
10	57,462	4.8	41,015	2.5	—	—	10,513	2.8	—	—
出所	沖縄県銀行協会				日本銀行本店		沖縄振興開発金融 公庫		沖縄県信用保証協会	

注) 県内金融機関の預金残高は、19年2月分より日本銀行(本店)ホームページ上で公表している県内預金合計に遡及改訂した。